



“廃熱利用”の省エネ補助金の公募が開始されました！！

1月24日までに
問い合わせを！

ボイラーやガス炉・電気炉などからの**低温廃熱を回収・有効利用できる設備を導入**する時の補助金です。

補助金のポイント

- ◆補助率 1/2以内、または1/3以内
※ 廃熱利用の温度により補助率が変動する。
- ◆補助額上限 上限なし
- ◆補助金募集期間 (四次募集)平成25年12月13日
～平成26年3月25日
- ◆補助対象内容 低温廃熱の回収・有効利用
※低温廃熱：ここでは300℃以下とする。
- ◆補助対象事業
 - ・ 年間省エネルギー量が15kL(原油換算)以上の事業
 - ・ 熱利用設備に投入される熱エネルギーが現在は廃棄している熱エネルギー
 - ・ 廃棄している熱エネルギーの温度帯が、300℃ 以下
- ◆補助制度の執行 経済産業省

ボイラーの省エネは
今がチャンス！

この機会に
廃熱回収を
始めましょう！

補助金活用で
経費を安く
省エネ！



裏面でこちらの補助金を活用して省エネできる4つの事例を紹介！！

ボイラーの
廃熱回収

ボイラーの
蒸気改質

地下水熱・地中
熱の有効活用

減圧時の蒸気差圧
エネルギーの有効活用

裏面へ
GO!!

お問い合わせは

神谷建設株式会社

お気軽にご相談下さい！

444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目3番地11

0566-53-1258

担当:夏目



<http://www.kamiya-ken.co.jp/syo-ene>

神谷 省エネ



メールでのご連絡は

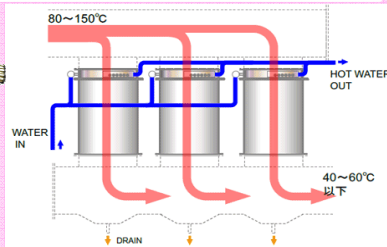
k-natume@kamiya-ken.co.jp

廃熱補助金の活用策はこれ！

従来回収ができなかった低温廃熱も回収！再利用！

1/2 補助！ 低温廃熱回収再利用システム

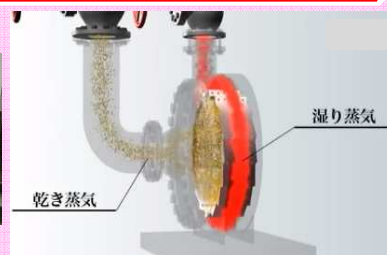
従来、排気ガスには腐食性ガスが含まれ、排ガスが結露を始める(潜熱領域)100℃以下の低温域ではその腐食性ガスにより熱交換機が腐食し、熱交換を行うことは困難を極めました。そのため、一般的には110℃～130℃以上の高温排ガスのまま煙突から排気されていました。しかし、その低温領域にて熱回収を実現したのが本システムです。排気ガスが結露を行う領域(潜熱領域)では圧倒的な凝縮熱を得ることができます。さらに、結露することで強烈な硫酸・硝酸が大量に回収できるため大気汚染を未然に防止することにも貢献します。



蒸気ボイラーの蒸気を改質し、5～10%燃料代削減！

1/3 補助！ サイクロン式蒸気減圧装置

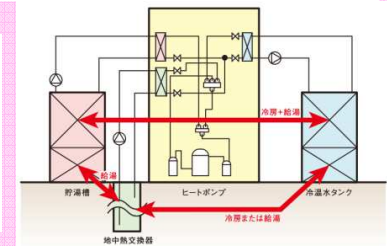
ほとんどの貫流式ボイラーは乾き度が低く水分の多い蒸気(湿り蒸気)を発生して、配管中に多くの無駄なドレンを生じさせています。この過剰なドレン排出は過剰なエネルギー消費を招いていると言えます。そこで、過剰なドレン排出を抑える手法として、「サイクロン式蒸気減圧装置」を活用します。この装置の「絞り減圧効果」に作り出された乾き度がアップした安定した高温の蒸気は、工場への送気中もドレンになりにくく、非常に良い状態で蒸気使用設備・機械へ供給されるようになります。したがって、蒸気ボイラーの燃料代削減につながります。



地下水熱・地中熱を有効活用し、ランニングコスト50%超削減！

1/2 補助！ 地下水熱・地中熱回収ヒートポンプシステム

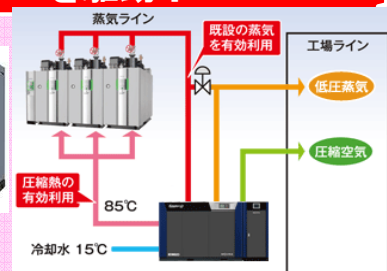
ヒートポンプの技術を応用し、年中安定した温度である地下水熱や地中熱などの低温熱源から効率的に熱を回収し、空調や給湯、床暖房などの用途に有効利用するシステムです。特殊な冷媒を用いることにより高温出湯(循環70℃、瞬間75℃)が可能となり、レジオネラ菌対策等も可能となります。また、同様に、下水熱や温泉の排湯熱などの熱源(エネルギー)も活用可能です。



未利用の蒸気差圧エネルギーを利用してコンプレッサーを駆動！

1/3 補助！ 蒸気差圧エネルギー有効利用システム

蒸気ボイラーで生成された蒸気が工場のプロセスで利用される際、多くのケースで減圧し利用されます。しかし、これまで、その減圧する際に発生する差圧エネルギーは全く利用されてきませんでした。本システムでは、その差圧エネルギーでエアコンプレッサを回し、圧縮空気を生成します。これにより、電気代の削減、電力負荷のピークカットに大きく貢献します。さらに、空気圧縮時に発生する、これまで捨てられていた圧縮熱を圧縮熱回収ユニットで効率よく回収します。その圧縮熱で高温水を作り、ボイラの給水などに利用できます。



参照：株式会社三菱総合研究所 HP

↓↓↓ そのままFAXしてください！ ↓↓↓

◆◆◆ お客様お問い合わせ記入欄 ◆◆◆

今回の記事内容に関しまして、ご質問・ご不明な点などございましたら下記ご記入の上、FAXして頂くか、電話にてお問い合わせ下さい。

直接話を聞きたい 今後も情報発信して欲しい

■ ご質問・お問い合わせあればご記入ください

.....

神谷建設株式会社 環境・省エネ・コスト削減 担当：夏目 宛

FAX 0566-53-5305

■ 今、導入を計画している設備はありますか？
もしあれば該当するものに○をつけてください。

空調、冷凍・冷蔵・チラー、蒸気ボイラー、コンプレッサー
 廃温水利用、その他 ()

お名前
 貴社名
 ご住所 〒
 電話番号

お電話でのお問い合わせは・・・TEL 0566-53-1258